

日本学術会議

第1回 計算力学シンポジウム

主 催

総合工学委員会・機械工学委員会合同 計算科学シミュレーションと工学設計分科会

共 催

日本機械学会、日本応用数理学会、日本計算工学会、日本シミュレーション学会
JACM (Japan Association for Computational Mechanics)、日本計算数理工学会
アジア太平洋計算力学連合、国際計算力学連合

開催趣旨 我が国を代表する計算力学関連学会が一堂に会し、まず、各学会を代表する若手が最近の成果を披露する。続いて、各学会の代表者によるパネルディスカッションでは、国際連携、国際貢献について議論する。以上を、計算力学に関する日本の研究成果を世界に発信し、国際社会における日本の計算力学分野の態勢を検討する材料とする。

日 時： 平成23年11月11日(金) 13:00～18:00

場 所： 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木7-22-34, 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口)

次 第

13:00 開会の辞

矢川 元基 (日本学術会議 東洋大学大学院工学研究科 教授、計算力学研究センター長)

13:10-13:40 講演 1 (日本機械学会計算力学部門)

小林 宏充 (慶應義塾大学)

「LESにおける乱流構造に基づくSGSモデルの開発」

13:40-14:10 講演 2 (日本応用数理学会)

多田野 寛人 (筑波大学大学院システム情報工学研究科)

「高精度近似解を生成するBlock Krylov部分空間反復法とその安定化」

14:10-14:40 講演 3 (日本計算工学会)

澤田 有弘 (産業技術総合研究所)

「流体構造連成解析を軸に国内外へContributionのある研究を目指して」

14:50-15:20 講演 4 (日本シミュレーション学会)

五十嵐 潤 (理研/ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)

「GPUによるデータ並列とタスク並列: 大規模基核モデルの実時間実行への応用」

15:20-15:50 講演 5 (JACM: Japan Association for Computational Mechanics)

今井 陽介 (東北大学)

「計算バイオメカニクスのGPU計算への展開」

15:50-16:20 講演 6 (APACM: Asia Pacific Association for Computational Mechanics)

荻野 正雄 (名古屋大学)

「大規模構造解析の高速化とその応用」

16:30-17:50 パネルディスカッション

パネリスト: 大富 浩一 (日本学術会議 東芝/日本計算工学会)

樫山 和男 (中央大学/アジア太平洋計算力学連合)

小山田 耕二 (日本学術会議 京都大学/日本シミュレーション学会)

萩原 一郎 (日本学術会議 東京工業大学/日本応用数理学会)

松本 敏郎 (名古屋大学/日本計算数理工学会)

宮崎 則幸 (日本学術会議 京都大学/JACM)

矢川 元基 (日本学術会議 東洋大学/国際計算力学連合)

司会: 梶島 岳夫 (大阪大学/日本機械学会計算力学部門)

17:50 閉会の辞

萩原 一郎 (日本学術会議 東京工業大学大学院理工学研究科 教授)

連絡先:

梶島 岳夫 (日本機械学会 計算力学部門長/大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻)

e-mail: kajisima@mech.eng.osaka-u.ac.jp

萩原 一郎 (日本学術会議 東京工業大学 大学院理工学研究科 機械物理工学専攻)

e-mail: hagiwara.i.aa@m.titech.ac.jp